

「ゾーン30プラス事例発表」 四万十市での生活道路安全対策



高知県四万十市まちづくり課
課長補佐兼道路管理係長 津野 智宏

目次

1. はじめに
2. 実証実験の概要
3. 走行車両の速度抑制効果
4. 横断歩行者優先の遵守率
5. 利用者アンケート調査
6. 実証実験のまとめと本設置の方向性
7. 生活道路対策エリア(中村小学校区)への本設置
8. 本設置後の効果検証
9. 本設置後のアンケート調査
10. 生活道路対策エリア(具同小学校区)での今後の展開

1. はじめに・・・



本市、中村地域中心市街地は

碁盤目状となっている市街地の路網



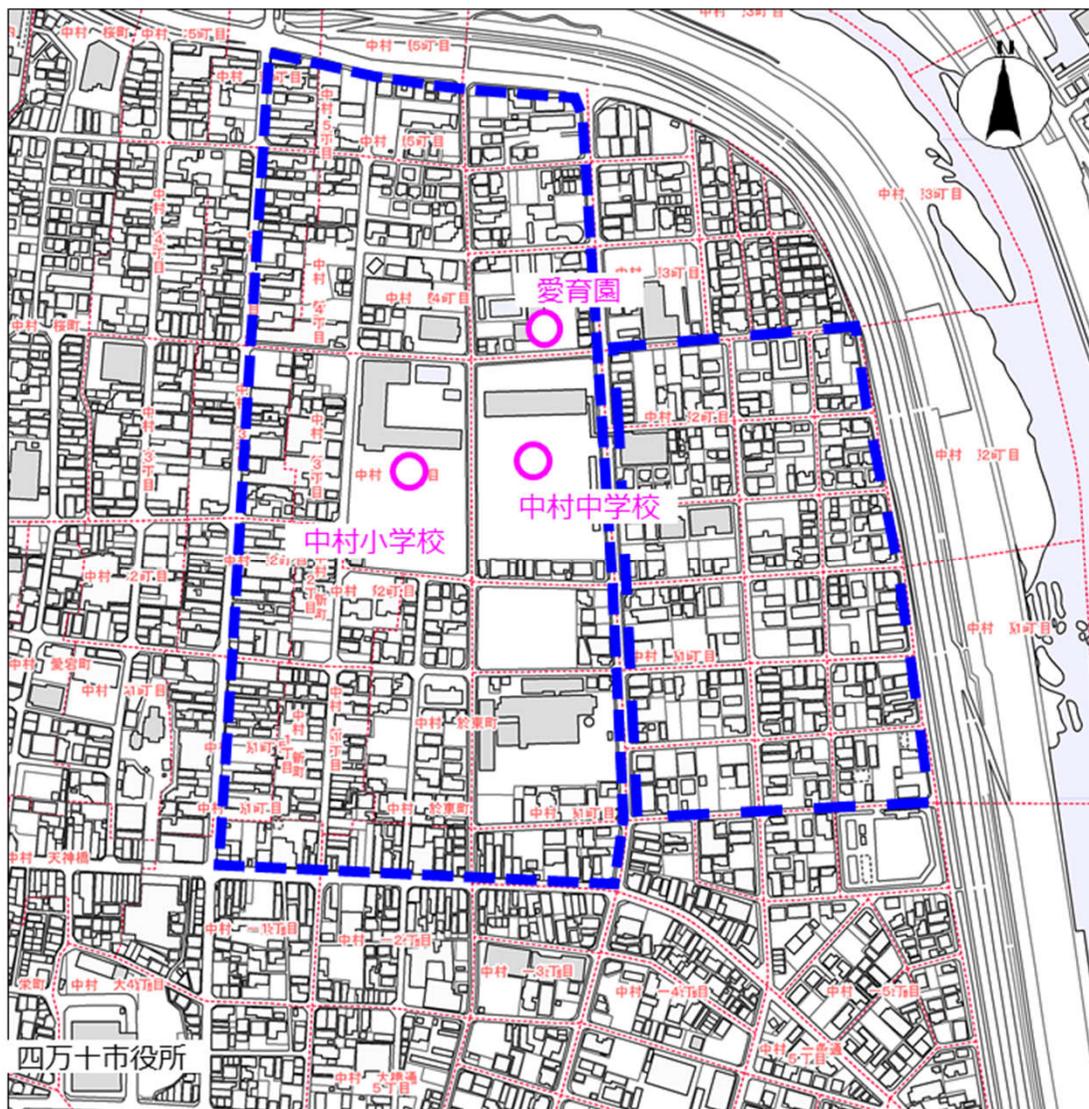
道幅を狭く保つことで、賑わいを創出

もともと徒歩を想定してきた路網は、現代の自動車社会においては狭く、死角が数多く点在するなど利用しづらい形態

通勤・通学時には、幹線となる国道・県道などの抜け道として利用されるなど危険性は一層高まっている

生活道路における交通安全対策は、本市にとって喫緊の課題

2. 実証実験の概要



これまで、本市の中心市街地については

- ゾーン内における走行速度の抑制
- 通過交通(抜け道としての通行)の抑制・排除

ゾーン入口の対策

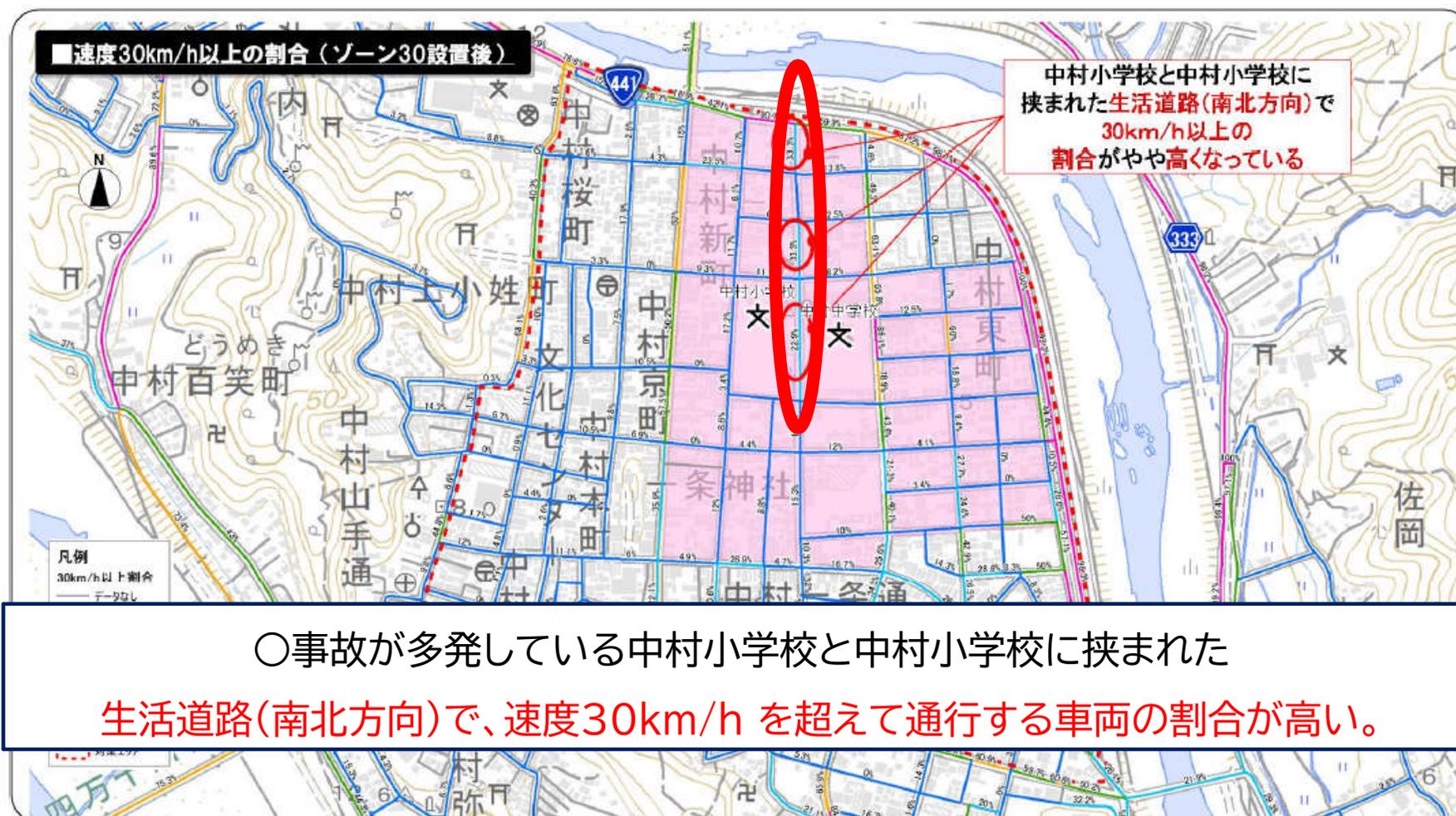
標識・表示の設置により、ドライバーに対し、ゾーンの入口を**明示**



平成25年度 高知県公安委員会が実施

2. 実証実験の概要

ETC2.0 分析による課題認識の検証、潜在的な危険箇所の抽出の結果
(1) 速度30km/h以上の割合



2. 実証実験の概要

生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「ゾーン30プラス」

- 最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定
- 道路管理者と警察が緊密に連携し、地域住民等の合意形成を図りながら、生活道路における人優先の安全・安心な通行空間を整備

〔「ゾーン30プラス」の入口（イメージ）〕



<警察による交通規制>

- 最高速度30km/hの区域規制等（ゾーン30）



<道路管理者による物理的デバイスの設置>

● 進入抑制対策



ライジングボラード



ハンプ



スムーズ横断歩道

● 速度抑制対策



狭さく



クランク

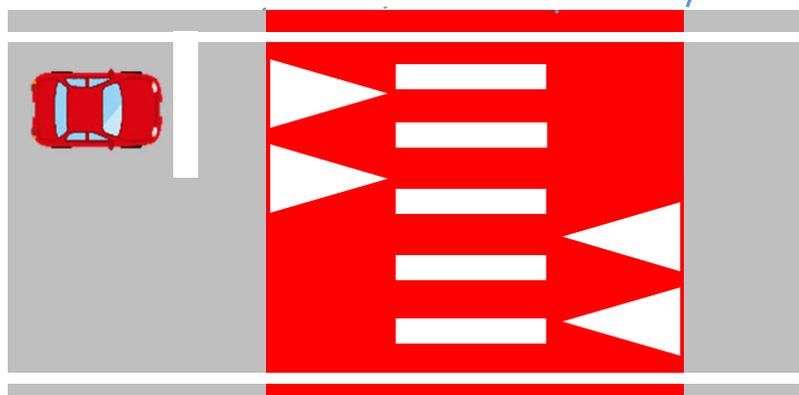
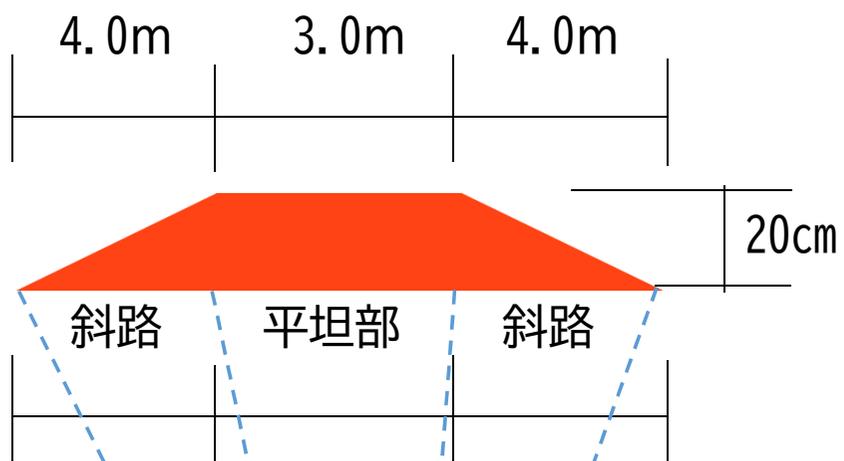


スラローム

2. 実証実験の概要

スムーズ横断歩道について

断面図



平面図



設置前



設置後

2. 実証実験の概要

◆ 目的

生活道路の交通安全に係る新たな連携施策「**ゾーン30プラス**」の整備に向けた**実証実験**として、代表的な物理的デバイスの一つである**スムーズ横断歩道**を試験的に設置し、**速度抑制効果等について検証**を行った。

◆ 実証実験期間

令和3年11月22日（月）～ 令和3年12月5日（日）

◆ 設置場所

四万十市立中村小学校と四万十市立中村中学校に挟まれた市道（四万十市中村新町3丁目20地先）

◆ 効果検証項目

(1) 走行車両の速度抑制効果

横断歩道を走行する車両がスムーズ横断歩道の設置による速度の抑制状況を検証

(2) 横断歩行者優先の遵守率

横断歩道付近における走行車両の停車状況を検証

(3) 利用者アンケート調査

スムーズ横断歩道について地域住民や小中学校関係者へ意見を聴取



2. 実証実験の概要

◆ 効果検証のための現地計測方法

スムーズ横断歩道設置箇所をビデオ撮影し、映像から走行車両の速度抑制状況及び横断歩行者優先の遵守率について検証。

(1) 走行車両の速度抑制効果

→0mから10m、20m、30mの通過時刻を記録し、10m毎の速度を算出

(2) 横断歩行者優先の遵守率

→車両が停止線付近を走行する状況を映像から読み取り、下表の方法で車両毎の遵守、非遵守、対象外を判定

※横断歩道上に歩行者がいる場合は、スムーズ横断歩道の有無によらず、車両が歩行者を譲らざるを得ない状況となることから、評価の対象外とする。

※「横断歩行者優先の遵守率」とは
 遵守率(%)=
 $\frac{\text{遵守車数}}{\text{遵守車数} + \text{非遵守車数}} \times 100$

		横断歩行者の位置				
		i) 歩行者なし	ii) 左側の歩道に横断しようとする歩行者	iii) 横断歩道上に左側から歩行者	iv) 横断歩道上に右側から歩行者	v) 右側の歩道に横断しようとする歩行者
車両の挙動	A) 停止	対象外	遵守	対象外	対象外	遵守
	B) 減速 or 徐行	対象外	遵守	対象外	対象外	遵守
	C) 停止、減速、徐行なし	対象外	非遵守	対象外	対象外	非遵守



◆ 映像撮影箇所

中村小学校、中村中学校、中村税務署

◆ 検証分析時における計測基線



◆ 検証期間

通常時及び設置時ともに平日3日間

通常時：令和3年11月16日(火)～令和3年11月18日(木)

設置時：令和3年11月30日(火)～令和3年12月2日(木)

◆ 検証時間

朝・夕・通学時間帯などを含む4時間
 (7:00～9:00、14:00～16:00)

◆ 検証分析時のビデオ映像読み取り範囲



3. 走行車両の速度抑制効果

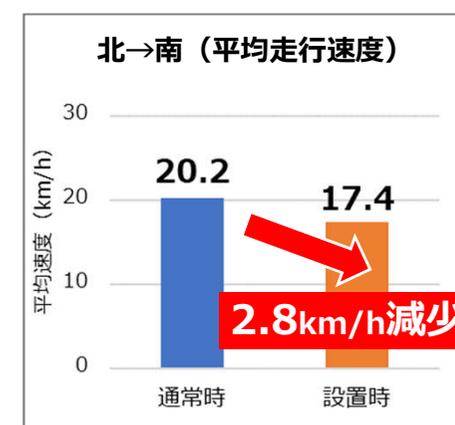
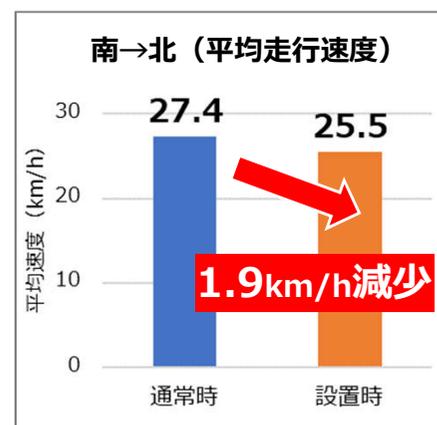
◆ 効果検証結果（走行車両速度）

- ・ **平均走行速度が減少**（南→北：1.9km/h減、北→南：2.8km/h減）。最大値は8.3km/h減少。
- ・ 10m区間毎では、南→北：30m～20mの区間で3.6km/h減少、北→南：10m～0mの区間で3.2km/h減少。

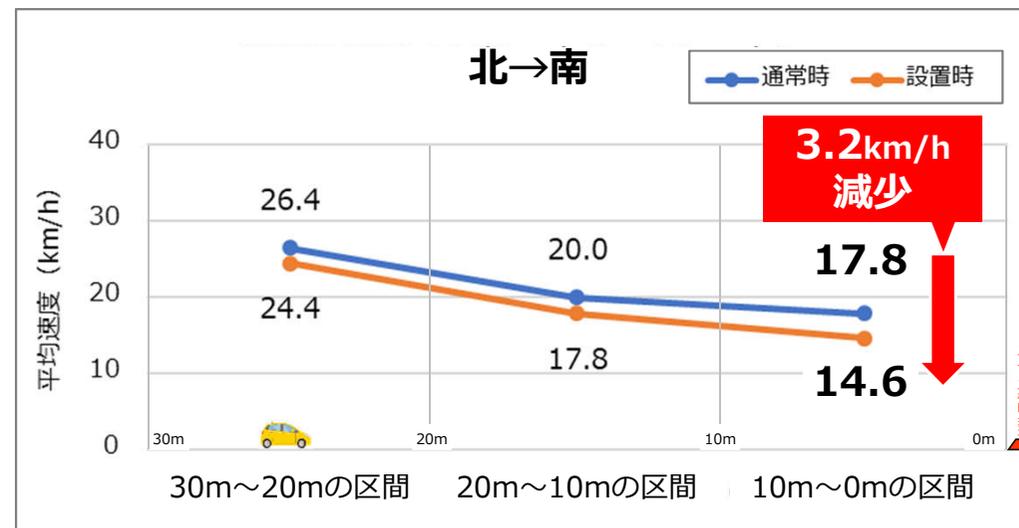
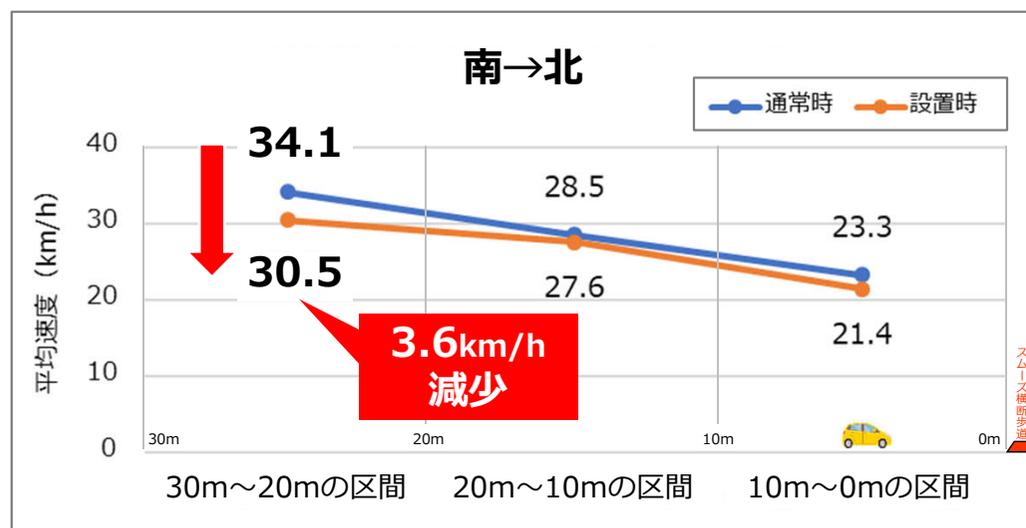
「■m～●m」とは、スムーズ横断歩道からの距離を示す。

(1) 全区間（30m～0m）の走行速度の変化

全区間	南→北			北→南		
	通常時	設置時	減少	通常時	設置時	減少
最高速度	50.2km/h	41.9km/h	8.3km/h	40.4km/h	33.4km/h	7.0km/h
最小速度	8.8km/h	11.1km/h	-2.3km/h	6.0km/h	4.8km/h	1.2km/h
平均速度	27.4km/h	25.5km/h	1.9km/h	20.2km/h	17.4km/h	2.8km/h
走行車両台数	126	143		186	237	



(2) 10m区間毎の平均走行速度の変化



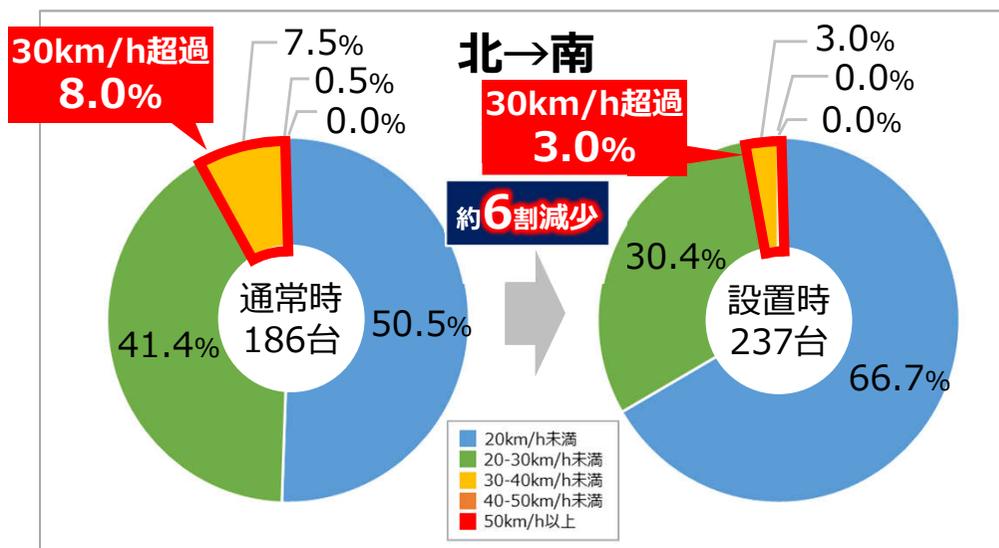
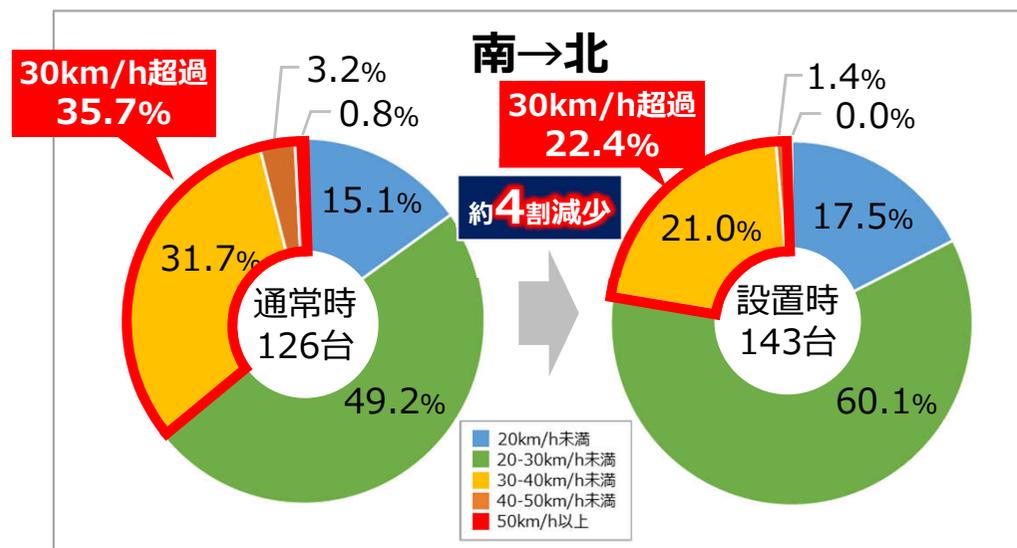
3. 走行車両の速度抑制効果

◆効果検証結果（速度別車両割合）

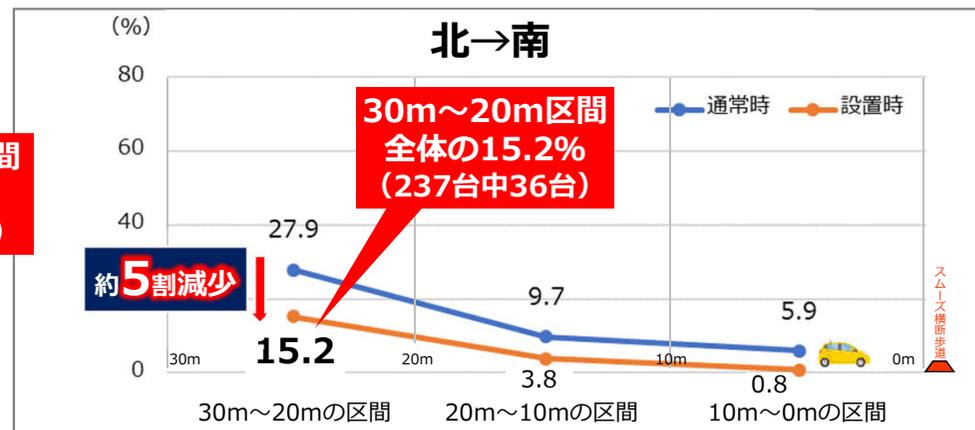
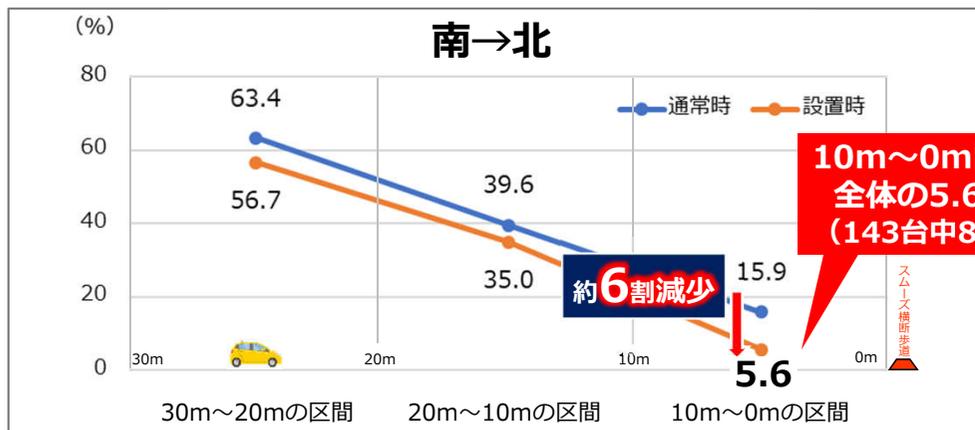
- **30km/h超過車両**が減少。（南→北：35.7%→22.4%、北→南：8.0%→3.0%）
- 10m区間毎では、南→北：**10m～0mの区間**で15.9%→5.6%、北→南：**30m～20m区間**で27.9%→15.2%。

(1)全区間（30m～0m）の速度別車両割合の変化

（■m～●m）とは、スムーズ横断歩道からの距離を示す。



(2)10m区間毎の30km/h超過車両割合の変化



4. 横断歩行者優先の遵守率

◆効果検証結果（横断歩行者優先の遵守率※及び走行車両の停車状況※） ※スクールガード等啓発活動時間帯は除く。

- 横断歩行者優先遵守率は、スムーズ横断歩道設置箇所で約3割上昇、交差点南北2箇所で約2割上昇。
- さらに、走行車両の停止率が約1割上昇。

(1)横断歩行者優先の遵守率の変化

スムーズ横断歩道設置箇所（南側横断歩道のみ）

<縦断方向計>

南側横断歩道のみ	通常時	設置時
遵守者数	4	6
非遵守者数	3	1
遵守率	57%	86%

約3割上昇

交差点南北2箇所

<縦断方向計>

南北2箇所横断歩道	通常時		設置時	
	遵守者数	9	20	非遵守者数
遵守率	56%	71%	非遵守者数	8

<縦断方向別>

南北2箇所横断歩道	南→北		北→南	
	通常時	設置時	通常時	設置時
遵守者数	3	5	6	15
非遵守者数	2	1	5	7
遵守率	60%	83%	55%	68%

約2割上昇

上昇

上昇

(2)走行車両の横断歩道手前での停止率の変化

<縦断方向計>

走行車両	通常時	設置時
停止orほぼ停止	98	164
減速or徐行	125	158
停止,減速,徐行なし	89	58
停止率	31%	43%

約1割上昇



<交差点南側の横断状況>

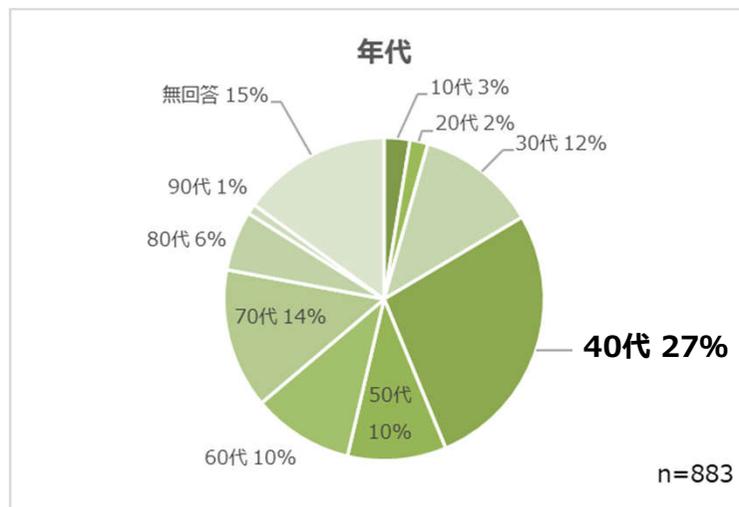
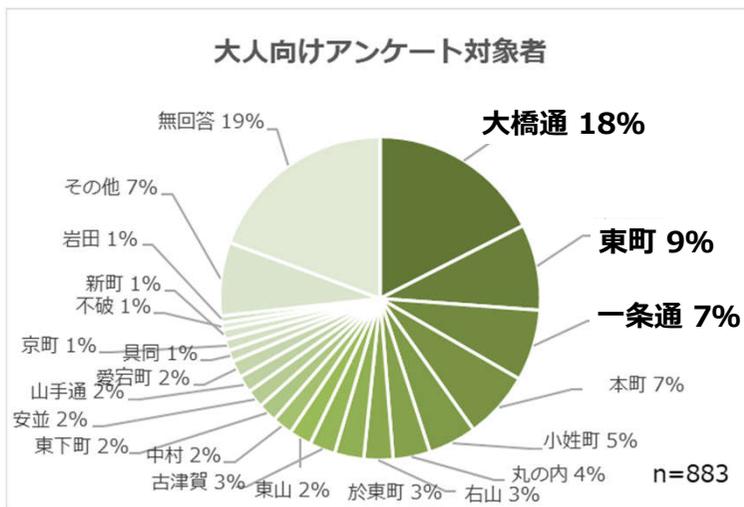
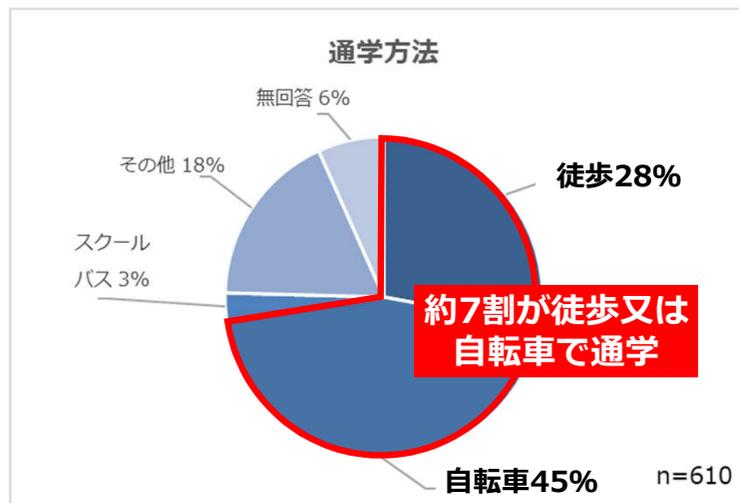
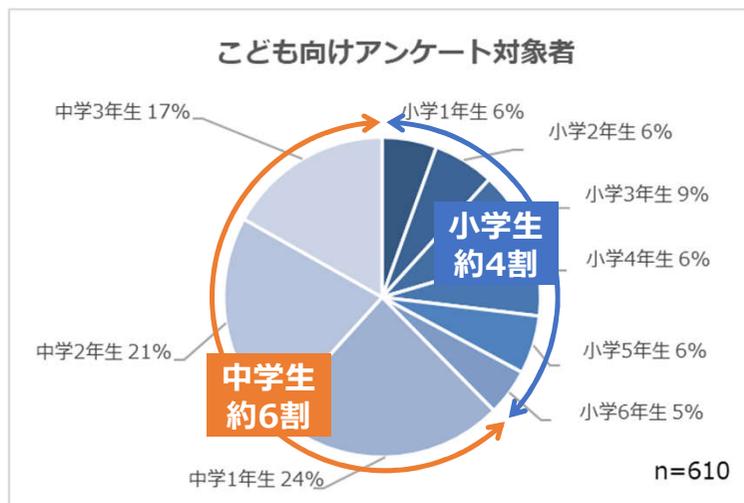


<交差点北側の横断状況>

5. 利用者アンケート調査

◆集計結果（属性）

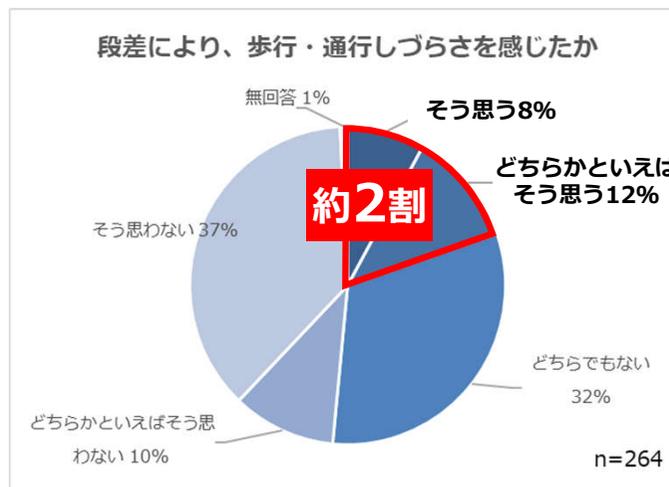
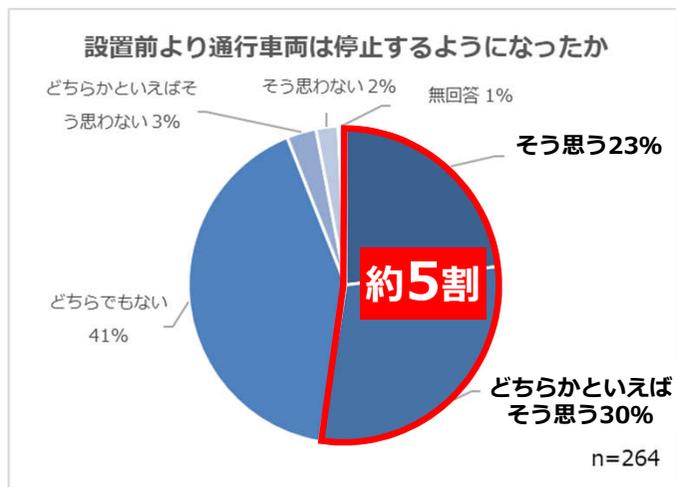
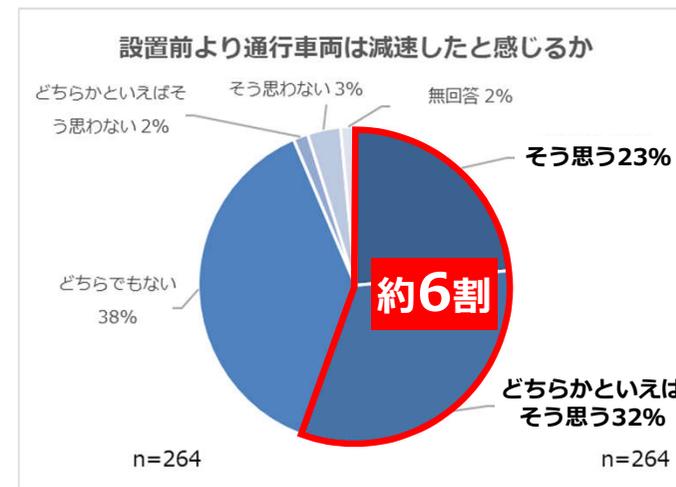
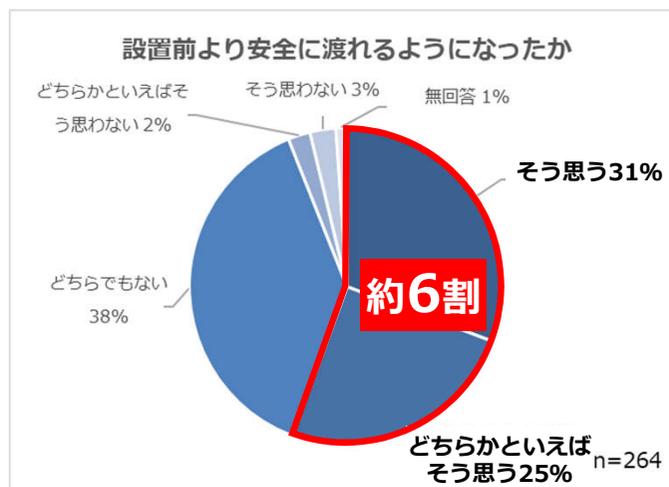
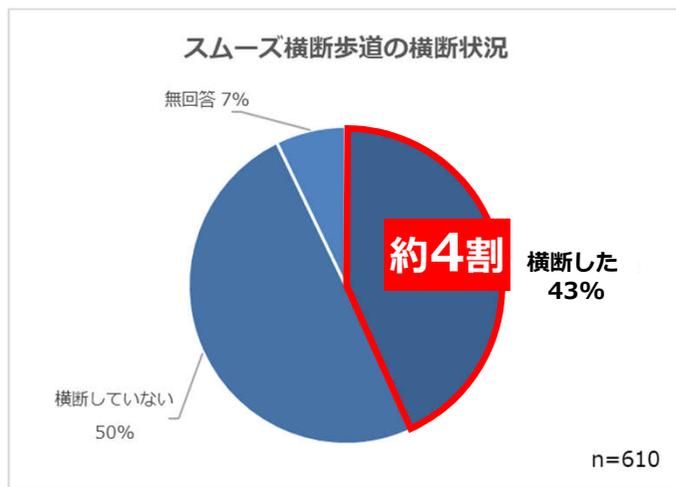
- 子ども向けアンケート回答者610名（中学生:約6割、小学生:約4割）の内、**約7割が徒歩又は自転車で通学。**
- 大人向けアンケート回答者883名の居住地は、**大橋通:18%**、**東町:7%**、**一条通:7%**の順に多く、**40代:27%**が**最も多い**。



5. 利用者アンケート調査

◆集計結果（歩行者・自転車利用者【子ども】）

- ・スムーズ横断歩道を約4割の児童・生徒が横断しており、うち約6割が「安全に渡れる」と回答。
- ・歩行者から見て、通行車両の減速や停止状況は設置前と比べ、約5～6割がよくなったと回答。
- ・約2割がスムーズ横断歩道の段差により、歩行・通行しづらさを感じている。

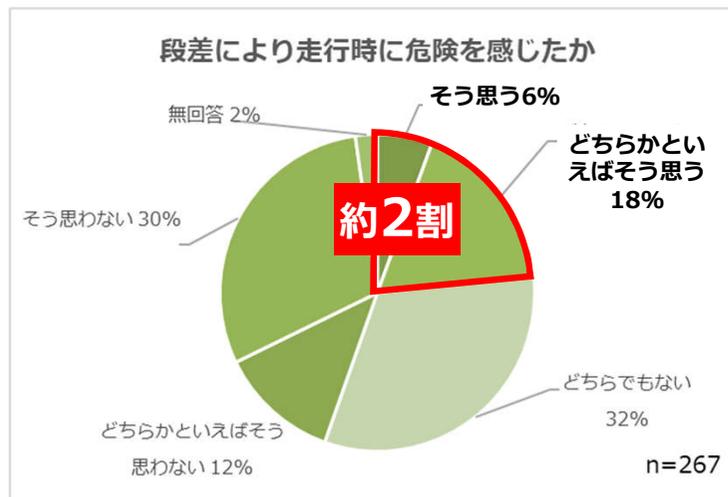
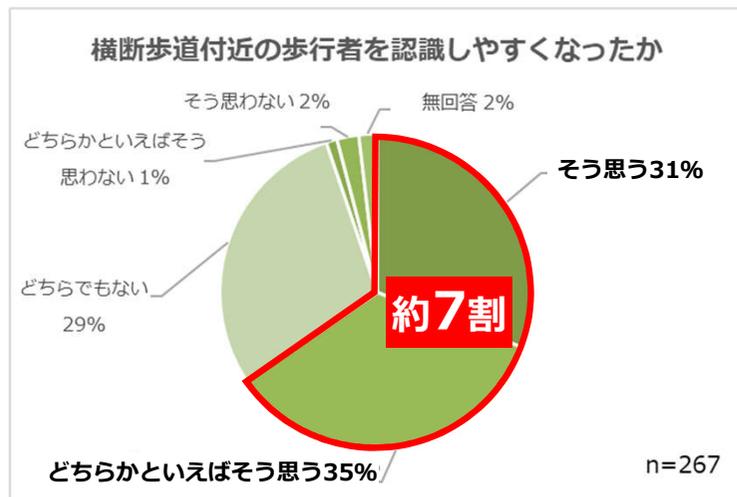
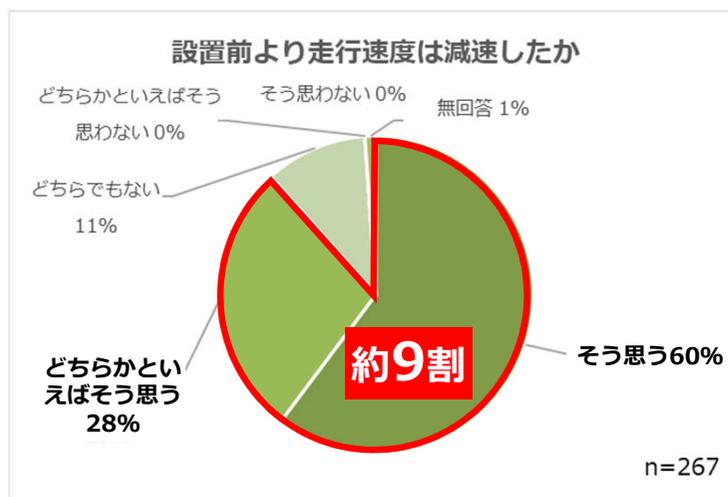
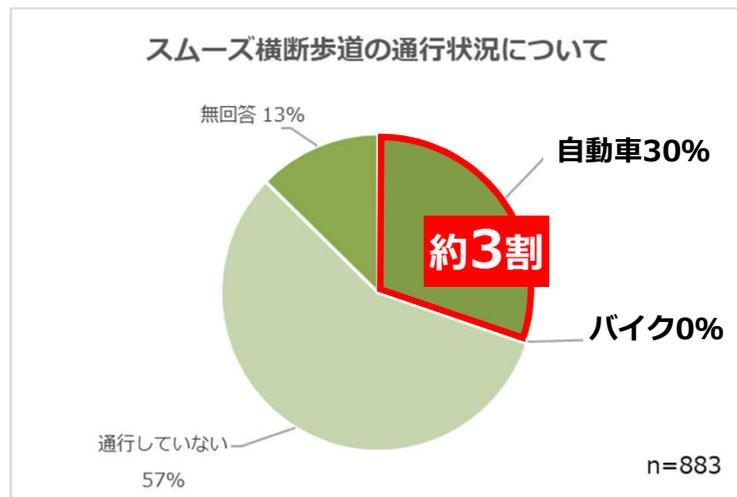


- －自由意見－
- 渡っていないけど、スピードを落としていたからいいと思います。（小3）
 - もっと傾斜を緩くお願いします。（中1）

5. 利用者アンケート調査

◆集計結果（自動車利用者【大人】）

- ・スムーズ横断歩道を約3割（自動車:30%、バイク:0%）が通行しており、**約9割**が**走行速度を減速した**と回答。
- ・設置前と比べ、**約7割**が**横断歩道付近の歩行者を認識しやすくなった**と回答。
- ・**約2割**がスムーズ横断歩道の**段差による危険を感じている**。



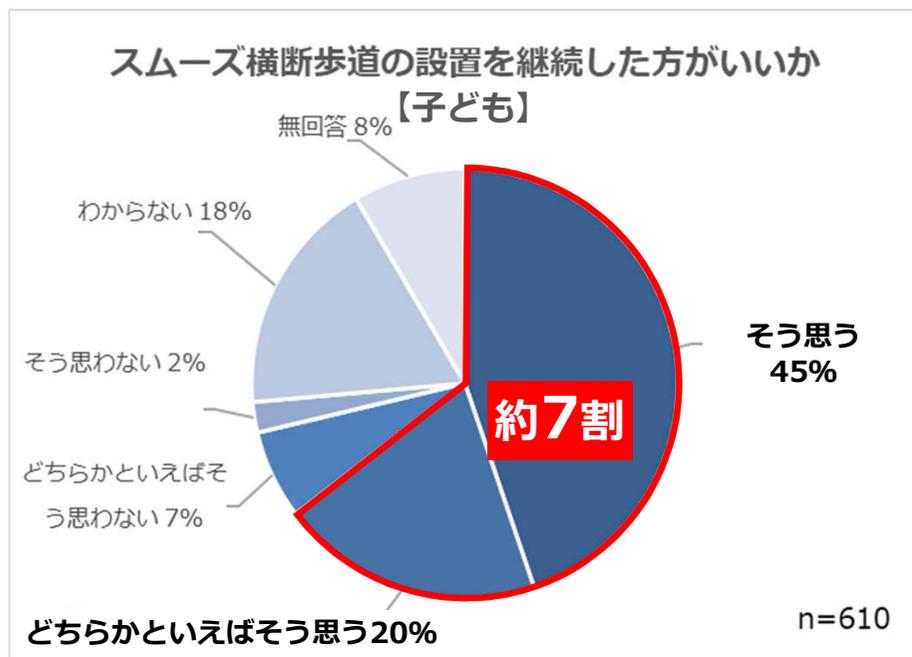
- 自由意見 -

- **横断している歩行者が目立つようになった点**が、特に良くなった点だと思う。（40代・保護者）
 - **手前で速度を落とすようになるので、あった方がいい**とおもいます。小、中学生が安全に通学できると思います。（50代・保護者）
 - **段差に気をとられやすかった**。（20代・教職員）
 - **夜は灯などがなく、とても見えにくく、逆にこわかった**です。（年代無回答・保護者）
 - **段差があることを事前に知らせる標識があれば、もっとスピードを落とすと思う。知らずに通ると危険**。（40代・保護者）
 - 少し離れると**歩道の立体感が分かりづらくなる**。路面のペイントデザインを工夫しては。（60代・地域住民）
- 【自動車同乗者の意見】
- 車で通る時、**振動がすごい**。（小3）

5. 利用者アンケート調査

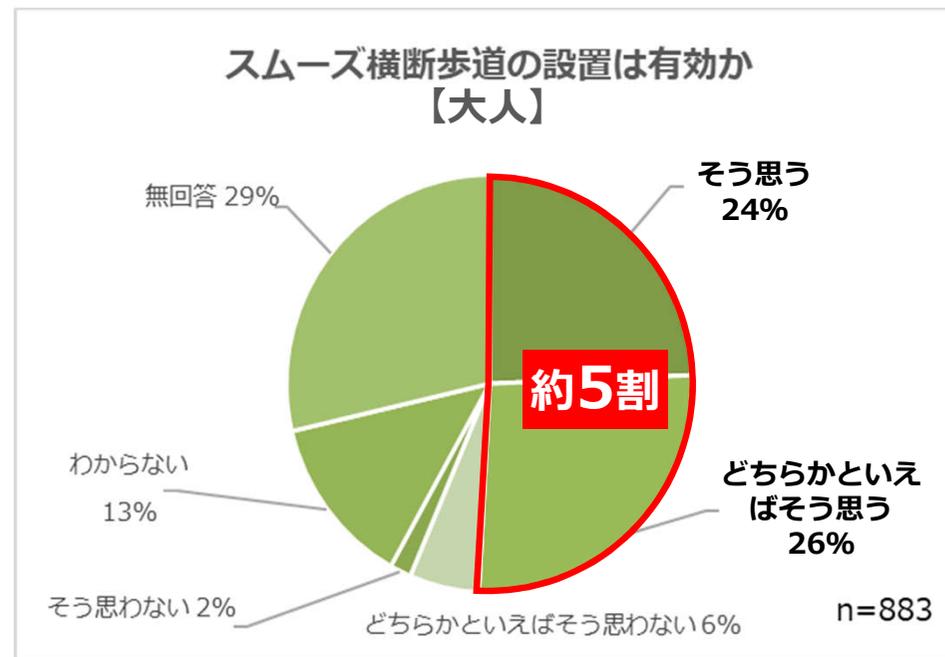
◆集計結果（スムーズ横断歩道の有効性）

・スムーズ横断歩道の設置について、小中学生は約7割、地域住民・教職員・保護者は約5割が有効と回答。



－自由意見－

- 安全になるならもっと設置した方がいいと思う。
(中1)
- 死角などの見づらい場所などにスムーズ横断歩道を設置するといいと思います。(中2)
- ここだけにつけても、あまり効果がないと思う。
(中2)



－自由意見－

- 段差があることが運転者にもわかり、スピードを落とさざるを得ないので、学校周辺に設置するのは良い。(30代・教職員)
- 自動車側で考えると注意力が高まるので、有効的だと思います。(年代無回答・保護者)
- 今回の取組は大変良いものだったと思いますが、なくなればまた元に戻るようにも思います。(50代・保護者)

5. 利用者アンケート調査

◆集計結果（その他、自由意見）

－自由意見【子ども】－

【今回の設置箇所について】

- 通った時、壁に当たりそうで何かこわい。(小3)
- 中学校側の通路がとても狭いから広くしてほしい。(中1)
- スムーズ横断歩道の横にあるコーンみたいなのに自転車をぶつけてしまった。(中1)

【通学状況について】

- 横断歩道などスピードを出し過ぎで停まってくれない。(小5)
- 信号のない横断歩道で、車が停まってくれない!!! (中3)

【通学路への要望について】

- 通学路で暗い所に街灯やカーブミラーをつけてほしいです。(中2)
- 歩道を整備してほしい。(中2)

【スムーズ横断歩道の認知について】

- スムーズ横断歩道の良さとかよく分からないから、良い所などを伝えてほしい。(小6)
- それを置くことでどんなメリットがあるのか。(小6)
- 普通の横断歩道じゃダメなんですか。(中2)

－自由意見【大人】－

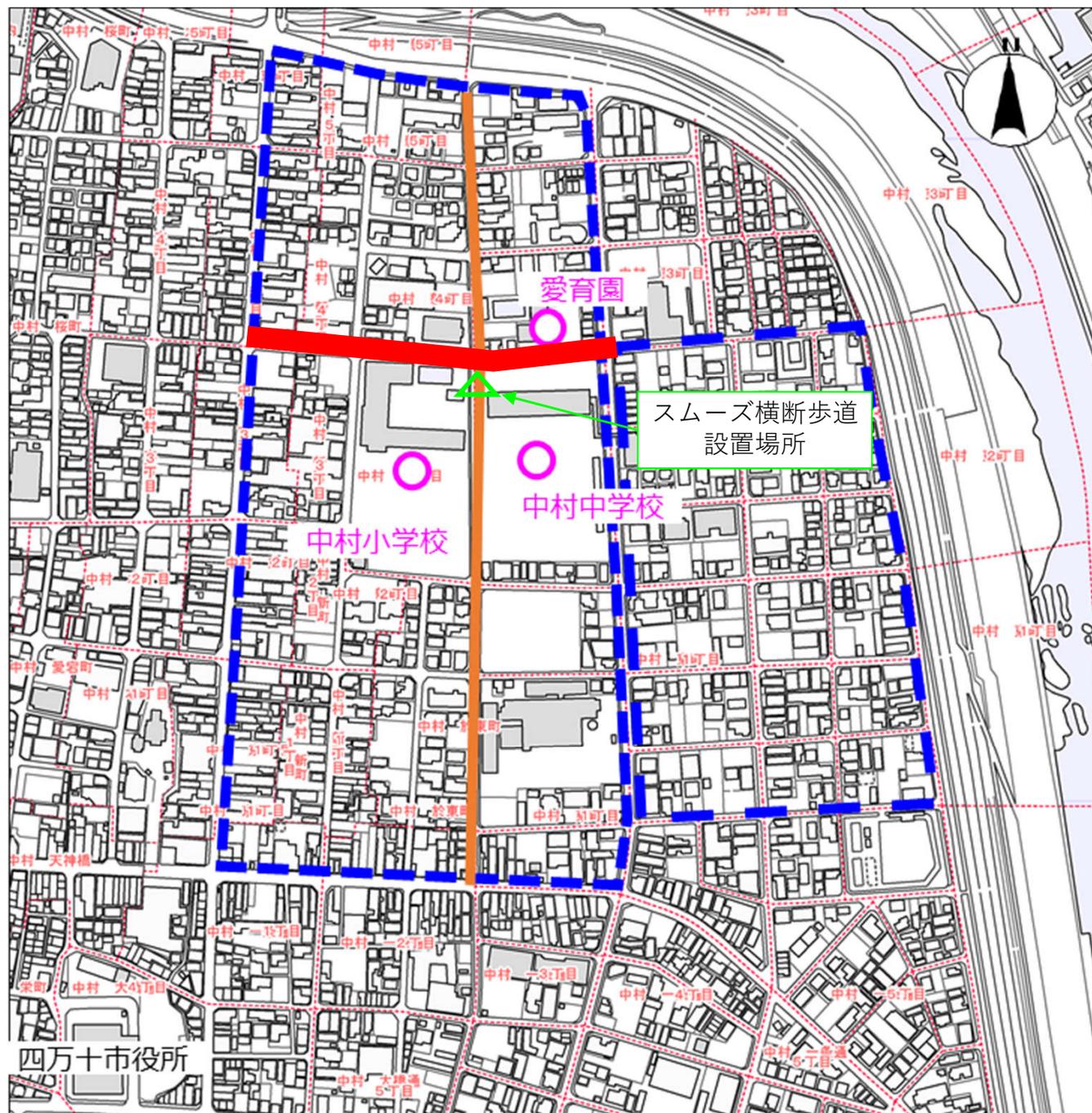
【今回の設置箇所について】

- 保育所の送迎時によく使う道なので、場所としてもベストと思います。(30代・教職員)
- 事故も多い場所で小中学校の近くでもあるので引続き設置して欲しいです。(40代・保護者)
- 部活動で外周を走る生徒が段差で転倒して道路に出てきそうで怖く感じるときがあります。(30代・教職員)
- 北側からの通行時は、税務署側の横断歩道で自転車や歩行者に注意することが多いので、今回の設置箇所では有効かよくわからなかった。(40代・保護者)
- 今回のスムーズ横断歩道の設置箇所には賛成なのですが、一時停止側で停止しない車が多い (他の場所でも) ので、設置方向や場所、一時停止場の工夫もしてほしいです。(50代・保護者)

【新たな設置候補箇所について】

- 小学校と玉姫会館の間にも設置して欲しい。(30代・保護者)
- 中村小学校正門側、中学校入口側など生徒の横断量が多い場所にあると有効だと思います。(40代・地域住民)
- 設置する場所は正門前の方が、良かったのではないかと思います。(年代無回答・保護者)
- 交通量及び横断者の多い場所など、設置場所をもっと検討して欲しい。(70代・地域住民)
- 市内の何か所かに1-2か月設置して、前後の結果を比べてみて設置場所を決めては。(70代・地域住民)

5. 利用者アンケート調査



5. 利用者アンケート調査

◆集計結果（その他、自由意見）

－自由意見【子ども】－

【今回の設置箇所について】

- 通った時、壁に当たりそうで何かこわい。(小3)
- 中学校側の通路がとても狭いから広くしてほしい。(中1)
- スムーズ横断歩道の横にあるコーンみたいなのに自転車をぶつけてしまった。(中1)

【通学状況について】

- 横断歩道などスピードを出し過ぎで停まってくれない。(小5)
- 信号のない横断歩道で、車が停まってくれない!!! (中3)

【通学路への要望について】

- 通学路で暗い所に街灯やカーブミラーをつけてほしいです。(中2)
- 歩道を整備してほしい。(中2)

【スムーズ横断歩道の認知について】

- スムーズ横断歩道の良さとかよく分からないから、良い所などを伝えてほしい。(小6)
- それを置くことでどんなメリットがあるのか。(小6)
- 普通の横断歩道じゃダメなんですか。(中2)

－自由意見【大人】－

【今回の設置箇所について】

- 保育所の送迎時によく使う道なので、場所としてもベストと思います。(30代・教職員)
- 事故も多い場所で小中学校の近くでもあるので引続き設置して欲しいです。(40代・保護者)
- 部活動で外周を走る生徒が段差で転倒して道路に出てきそうで怖く感じるときがあります。(30代・教職員)
- 北側からの通行時は、税務署側の横断歩道で自転車や歩行者に注意することが多いので、今回の設置箇所では有効かよくわからなかった。(40代・保護者)
- 今回のスムーズ横断歩道の設置箇所には賛成なのですが、一時停止側で停止しない車が多い (他の場所でも) ので、設置方向や場所、一時停止場の工夫もしてほしいです。(50代・保護者)

【新たな設置候補箇所について】

- 小学校と玉姫会館の間にも設置して欲しい。(30代・保護者)
- 中村小学校正門側、中学校入口側など生徒の横断量が多い場所にあると有効だと思います。(40代・地域住民)
- 設置する場所は正門前の方が、良かったのではないかと思います。(年代無回答・保護者)
- 交通量及び横断者の多い場所など、設置場所をもっと検討して欲しい。(70代・地域住民)
- 市内の何か所かに1-2か月設置して、前後の結果を比べてみて設置場所を決めては。(70代・地域住民)

6. 実証実験のまとめと本設置の方向性

効果・検証

2. 走行車両の速度抑制効果

- ◆ 平均走行速度が減少し、最大速度は50.2km/h→41.9km/hに減少
- ◆ 30km/h以上で走行する車両台数が減少
特に、夕方の北～南方向への超過台数は、ほぼゼロに



4. 利用者アンケート調査

- ・自動車利用者は、設置前と比べ、大半が減速した
- ・横断歩道利用者も設置前比べ、走行車両の減速を実感

3. 横断歩行者優先の遵守率

- ◆ スムーズ横断歩道設置箇所（南側横断歩道）及び南北の横断歩道の場合でも、横断歩行者優先の遵守率が上昇
- ◆ 通行車両の停止率が上昇



4. 利用者アンケート調査

- ・自動車利用者は、設置前と比べ視認性が向上
- ・横断歩道利用者は設置前比べ、停止する車の増加を実感

スムーズ横断歩道設置による交通安全面の効果は高い！

課題

- ▼ 平均走行速度の減少率（効果）が小さい
特に、10m区間毎で比べると、北～南方向はスムーズ横断歩道から遠ざかるほど減少率（効果）が小さい

4. 利用者アンケート調査（自由意見）

- ▼ より目立つ事前案内（標識）が必要
- ▼ 設置箇所の夜間も含めた視認性の強化
- ▼ 新たな設置候補箇所・通学路への意見

本設置の方向性

- ▶ スムーズ横断歩道の効果を更に高めるために以下の項目を推進する必要があると考える。
 - ① 夜間も含め、ドライバーが歩行者や横断歩道を認識しやすい対策の併用。
 - ② 歩行者の利用動線を踏まえた設置箇所での整備。（今回設置箇所より、北側横断歩道の利用が多かった。）
 - ③ 地域住民や利用者の認識や感覚に合致した設置箇所における整備。

7. 生活道路対策エリア(中村小学校区)への本設置

◆「四万十市中村小学校区」エリア内への本設置

【整備箇所②】新たな箇所への設置

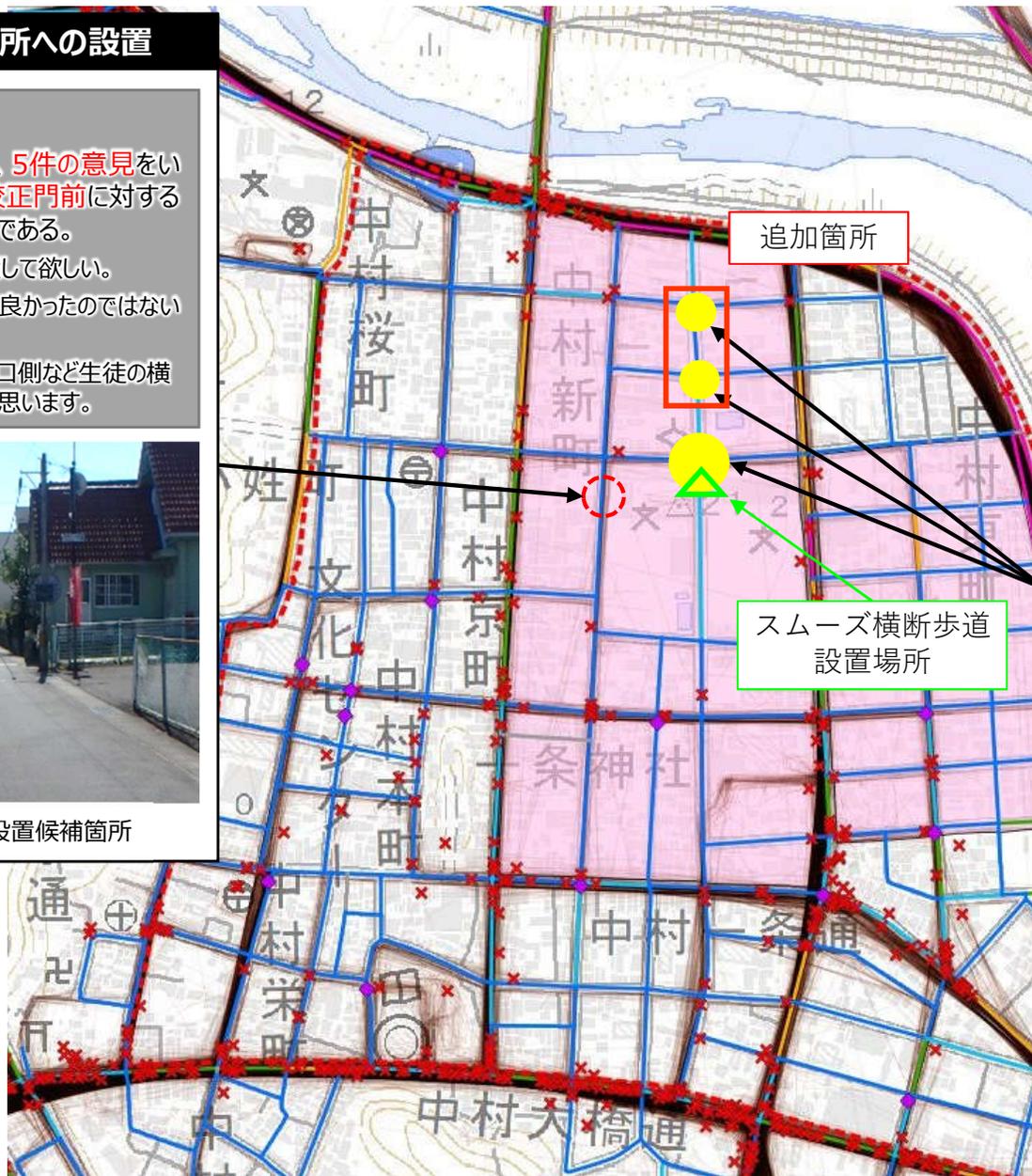
◆利用者アンケート調査

新たな設置候補箇所について、5件の意見をいただき、全ての回答で中村小学校正門前に対する意見・要望であった。以下は一例である。

- 小学校と玉姫会館の間にも設置して欲しい。
- 設置する場所は正門前の方が、良かったのではないかと思います。
- 中村小学校正門側、中学校入口側など生徒の横断量が多い場所にあると有効だと思います。



写真 物理的デバイスの新たな設置候補箇所



【整備箇所①】今回設置箇所への本設置

◆今回の区間ごとの速度抑制効果

効果はあったものの、北～南方向はスムーズ横断歩道から遠ざかるほど効果が小さかった。



◆今回の実証実験のビデオ観測映像

今回、スムーズ横断歩道を設置した箇所の北側にある横断歩道が、中村税務署の駐車場に駐車し、「四万十市立愛育園」に送迎する歩行者動線となっており、約130人/日(南側：約80人/日)の横断者が確認された。

路線や交差点を一体とした スムーズ横断歩道やハンプの設置



資料：国土交通省

写真 交差点を一体として設置したスムーズ横断歩道の事例

◆スムーズ横断歩道との相乗効果

南北への通行車両への更なる減速効果を図るため、北側2箇所の交差点に新たにイメージハンプを設置した。

7. 生活道路対策エリア(中村小学校区)への本設置

◆整備箇所①

施工前



交差点全体にハンプ・スムーズ横断歩道の設置

施工後



7. 生活道路対策エリア(中村小学校区)への本設置

◆整備箇所①

施工前



北側2箇所の交差点にイメージハンプを設置

施工後



施工前



施工後



7. 生活道路対策エリア(中村小学校区)への本設置

◆「四万十市中村小学校区」エリア内への本設置

【整備箇所②】新たな箇所への設置

◆利用者アンケート調査

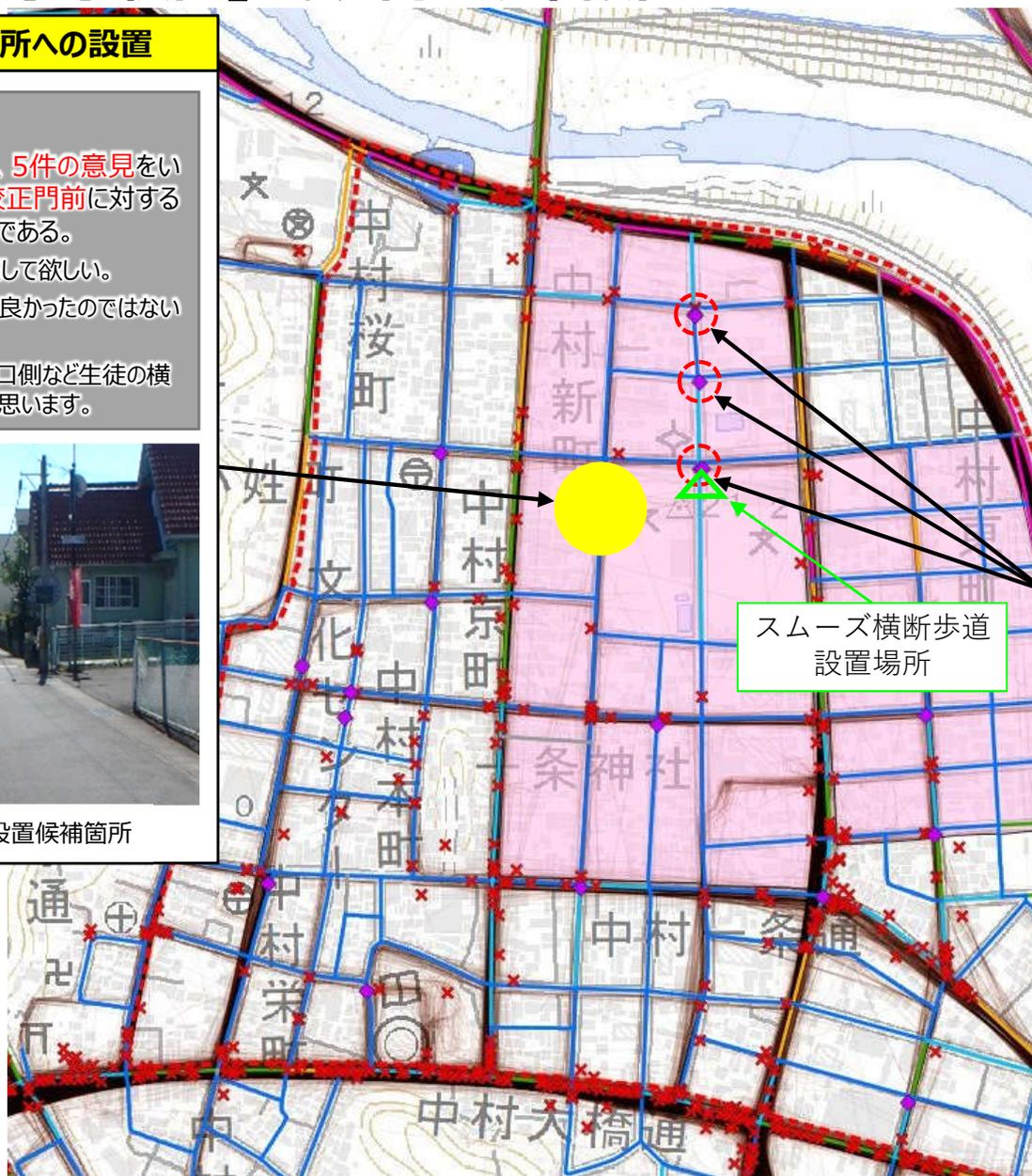
新たな設置候補箇所について、5件の意見をいただき、全ての回答で中村小学校正門前に対する意見・要望であった。以下は一例である。

- 小学校と玉姫会館の間にも設置して欲しい。
- 設置する場所は正門前の方が、良かったのではないかと思います。
- 中村小学校正門側、中学校入口側など生徒の横断量が多い場所にあると有効だと思います。



写真 物理的デバイスの新たな設置候補箇所

平均速度	
— (Blue)	30km/h以上割合20%未満
— (Light Blue)	30km/h以上割合40%未満
— (Green)	30km/h以上割合60%未満
— (Yellow)	30km/h以上割合80%未満
— (Pink)	30km/h以上割合80%以上
— (Pink)	ゾーン30
— (Red dashed)	対策エリア
✕ (Red)	急ブレーキ
◆ (Purple)	死傷事故(H27~R1.6)



【整備箇所①】今回設置箇所への本設置

◆今回の区間ごとの速度抑制効果

効果はあったものの、北～南方向はスムーズ横断歩道から遠ざかるほど効果が小さかった。



◆今回の実証実験のビデオ観測映像

今回、スムーズ横断歩道を設置した箇所の北側にある横断歩道が、中村税務署の駐車場に駐車し、「四万十市立愛育園」に送迎する歩行者動線となっており、約130人/日(南側：約80人/日)の横断者が確認された。

路線や交差点を一体とした スムーズ横断歩道やハンプの設置



資料：国土交通省

写真 交差点を一体として設置したスムーズ横断歩道の事例

◆スムーズ横断歩道との相乗効果

南北への通行車両への更なる減速効果を図るため、北側2箇所の交差点に新たにイメージハンプを設置した。

7. 生活道路対策エリア(中村小学校区)への本設置

◆整備箇所②

小学校と学童保育施設を結ぶスムーズ横断歩道の設置

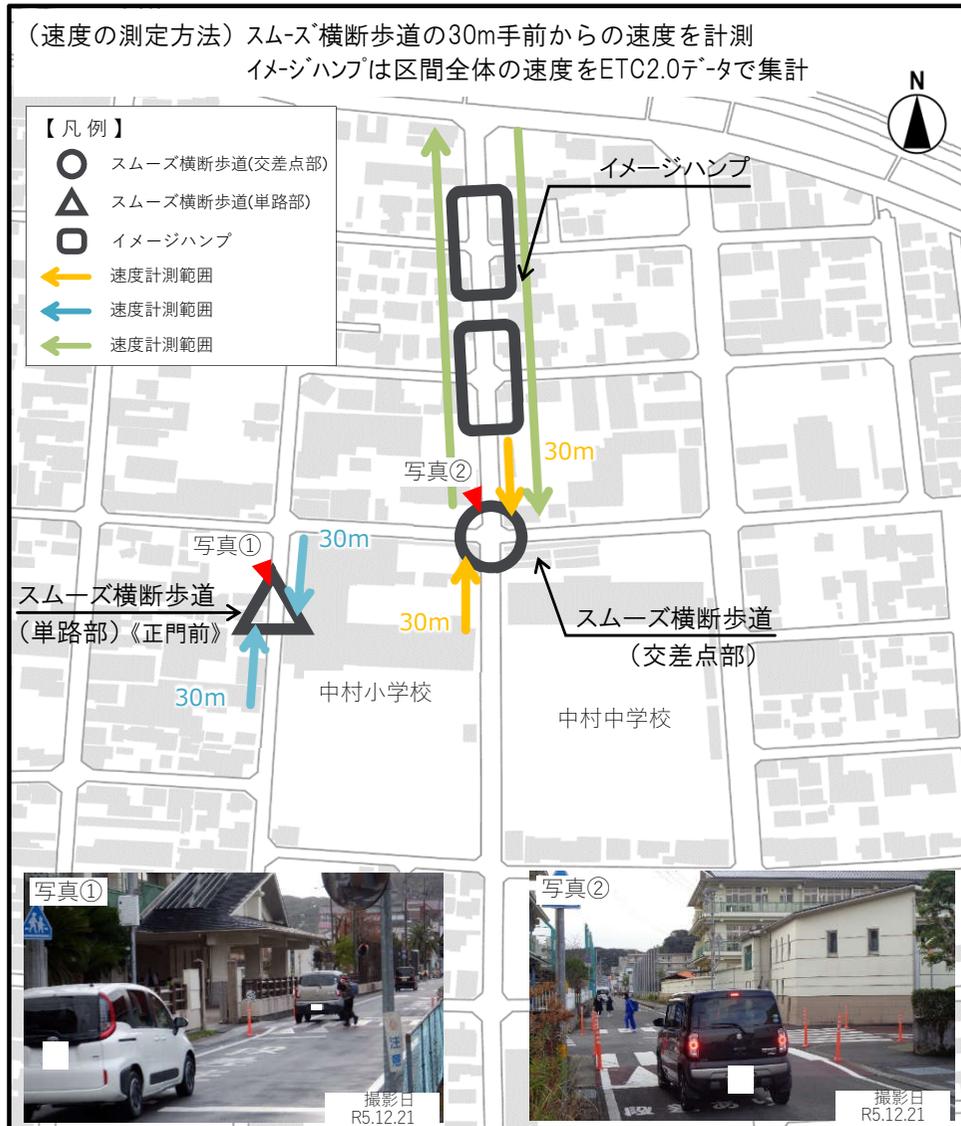


8. 本設置後の効果検証

◆効果検証結果（走行車両速度）

□スムーズ横断歩道およびイメージハンプの設置により、
自動車の走行速度が低下し、安全性が向上。

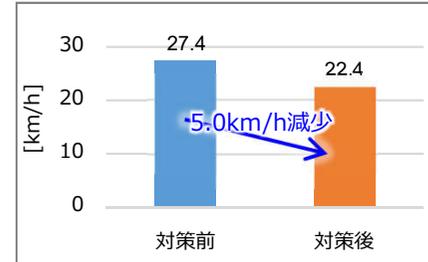
■調査位置



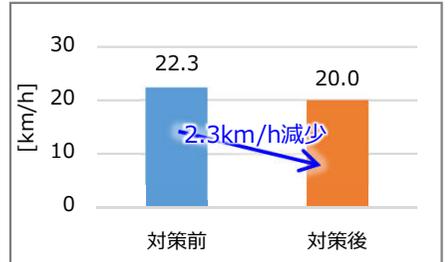
■走行速度の変化

(1) スムーズ横断歩道（交差点部）

1) 南→北



2) 北→南

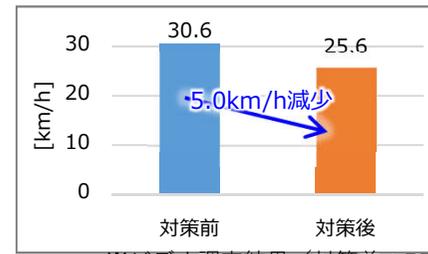


※ビデオ調査結果（対策前：R3.11 対策後：R5.12 7:00～9:00,14:00～16:00の集計）

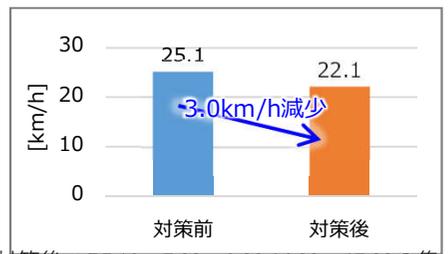
※北→南は対策前後の調査区間が異なるため、区間が重なる20mで比較

(2) スムーズ横断歩道（単路部）《正門前》

1) 南→北



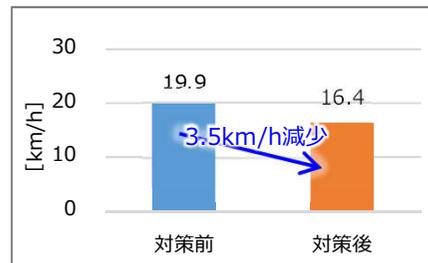
2) 北→南



※ビデオ調査結果（対策前：R5.1 対策後：R5.12 7:00～9:00,14:00～17:00の集計）

(3) イメージハンプ

1) 南→北



2) 北→南



※ETC2.0分析結果（対策前：R4.8～R4.10 対策後：R5.8～R5.10 0:00～24:00の集計）

8. 本設置後の効果検証

◆効果検証結果（横断歩行者優先の遵守率）

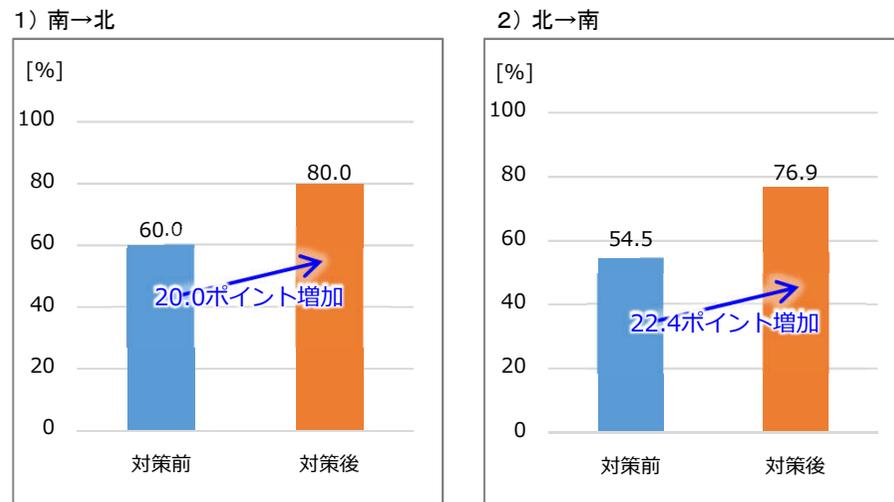
□スムーズ横断歩道により、「横断歩行者優先の遵守率」が向上。

■調査位置



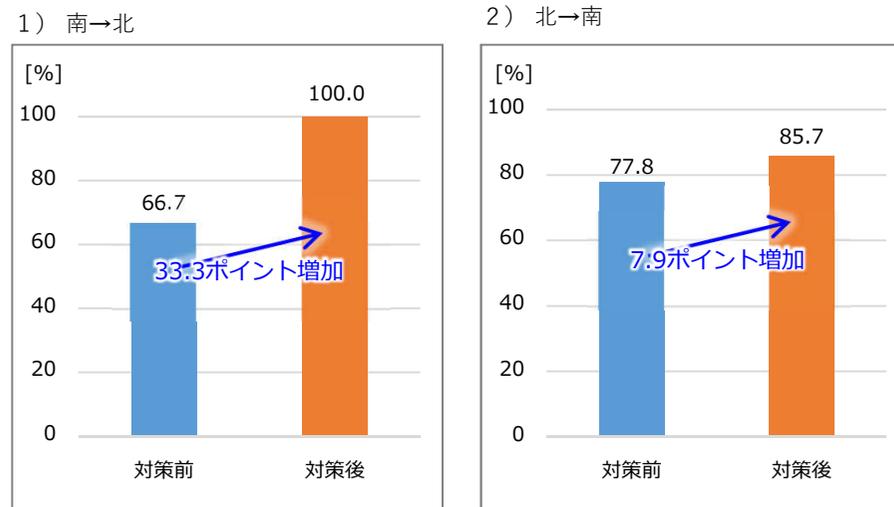
■横断歩行者優先の遵守率の変化

(1) スムーズ横断歩道（交差点部）



※対策前：R3.11 対策後：R5.12 7:00～9:00,14:00～16:00の集計

(2) スムーズ横断歩道（単路部）《正門前》



※対策前：R5.1 対策後：R5.12 7:00～9:00,14:00～17:00の集計

9. 本設置後のアンケート調査

◆ 調査概要

スムーズ横断歩道・イメージハンプ利用者の実感としての整備効果を把握するため、ゾーン30プラス周辺の地域住民を対象にアンケート調査を実施した。（配布方法：ポスティングによる配布）

◆ アンケート調査票

生活道路の安全対策に関するアンケート調査にご協力ください

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より国土交通行政に対するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

四万十市中村小学校地区では、生活道路の安全対策として、地域の皆様や高知県警察、四万十市と連携し、スムーズ横断歩道やイメージハンプの整備など様々な取り組みを行ってきました。

今回、それらの効果についてご意見をお伺いし、今後の生活道路の安全対策に役立てるためアンケート調査にご協力いただきたいと思います。

なお、プライバシーの保護のため、調査は無記名方式としており、調査の結果については、他の目的には使用いたしません。皆様のご協力をよろしくお願いたします。

中村河川国道事務所 道路管理課



～ 調査票についてのご説明 ～

- 本調査票は、**中村小学校周辺にお住いの世帯**にお送りしております。
- ご記入はできる限り、**整備箇所を通行したことがある方**にお願いいたします。
整備箇所を通行したことがない方がご記入いただいても構いません。
- ご記入は、認問に従って**あてはまる番号に「○」**をつけてください。

（調査票への記入方法）

- 問05 生活道路の安全対策として、イメージハンプの整備は有効だと思いますか。【1つ選択】
- 1 そう思う
 - 2 どちらかといえばそう思う
 - 3 どちらでもない（変化なし）
 - 4 どちらかといえばそう思わない
 - 5 そう思わない

あてはまる項目に「○」を記入



- 記入した調査票は、**1月9日（火）**までに、**切手をはらず**に同封の返信用封筒に入れ、ポストに投かんしてください。

- 調査内容に関するお問合せ
実施機関：中央コンサルタンツ(株) 担当：柳田(やなぎた)・石津(いしず) TEL 092-271-2541
- 調査内容以外に関するお問い合わせ
調査主体：四国地方整備局 中村河川国道事務所 道路管理課 TEL 0680-34-7319
調査協力：四万十市役所 まちづくり課 道路管理係 TEL 0680-34-1116

イメージハンプやスムーズ横断歩道の整備効果、今後の生活道路の安全対策についてアンケートのご協力をお願いいたします。



【安全対策内容について】

イメージハンプ・・・目の錯覚を利用し、道路に凸状の部分があるように見せかけた舗装のこと
スムーズ横断歩道・・・横断歩道に設けられた凸状の部分のこと



1. ご自身のことについてお聞きします

問01 あなたご自身のことを教えてください。

年齢	歳代	性別	1 男性	2 女性
居住地	1 中村京町 2 中村新町 3 中村東町 4 その他()			
自動車・バイクの運転頻度	1 ほぼ毎日 2 週に1~2日 3 ほとんど運転しない 4 運転免許を持っていない			

2. イメージハンプについてお聞きします

問02 イメージハンプの整備箇所を通行したことはありますか。【1つ選択】
また、通行した時の手段は何ですか。【複数選択可】

- 1 通行したことがある 2 通行したことがない
↳ 1 自動車 2 バイク 3 自転車 4 徒歩 5 その他()

通行したことがない方は、「3. スムーズ横断歩道についてお聞きします」へ進んでください。

問03 イメージハンプの整備箇所において、あなた以外が運転する車両の速度は遅くなったと思いますか。【1つ選択】

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらでもない（変化なし）
4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

問04 自動車・バイクで通行したことがある人にお聞きします。
あなたはイメージハンプの整備によって、速度を落とそうと意識しましたか。【1つ選択】

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらでもない（変化なし）
4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

問05 生活道路の安全対策として、イメージハンプの整備は有効だと思いますか。【1つ選択】

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらでもない（変化なし）
4 どちらかといえばそう思わない（理由：)
5 そう思わない（理由：)

問06 対象エリアにイメージハンプは追加が必要だと思いますか。【1つ選択】

- 1 追加で対策すべき（整備によって不便を感じることはない）
2 不便を感じるが対策すべき 3 特に必要ない 4 不便を感じるため、対策の追加は必要ない
5 その他()

3. スムーズ横断歩道についてお聞きします

問07 スムーズ横断歩道の整備箇所を通行したことはありますか。【1つ選択】
また、通行した時の手段は何ですか。【複数選択可】

- 1 通行したことがある 2 通行したことがない
↳ 1 自動車 2 バイク 3 自転車 4 徒歩 5 その他()

通行したことがない方は、「4. 生活道路の安全対策についてお聞きします」へ進んでください。

問08 スムーズ横断歩道の整備効果（車両速度の低下）は継続していると思いますか。【1つ選択】

- 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらでもない（変化なし）
4 どちらかといえばそう思わない 5 そう思わない

問09 スムーズ横断歩道の整備によって生じた新たな問題はありますか。【1つ選択】

- 1 ある → 具体的に何ですか
2 ない

問10 対象エリアにスムーズ横断歩道は追加が必要だと思いますか。【1つ選択】

- 1 追加で対策すべき（整備によって不便を感じることはない）
2 不便を感じるが対策すべき 3 特に必要ない 4 不便を感じるため、対策の追加は必要ない
5 その他()

4. 生活道路の安全対策についてお聞きします

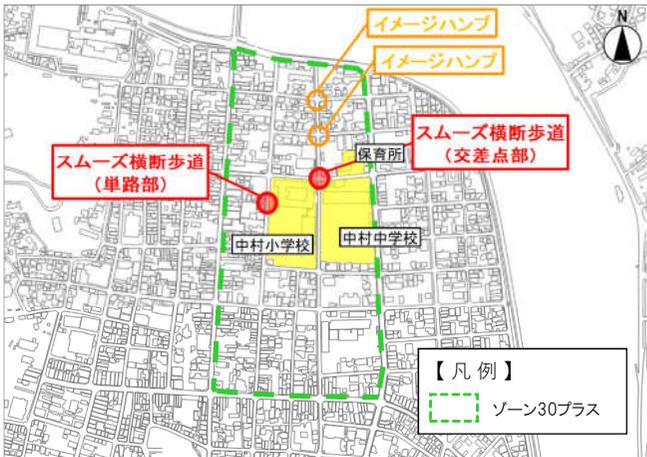
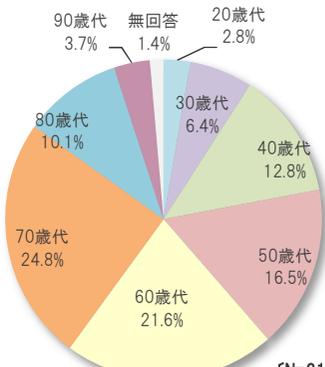
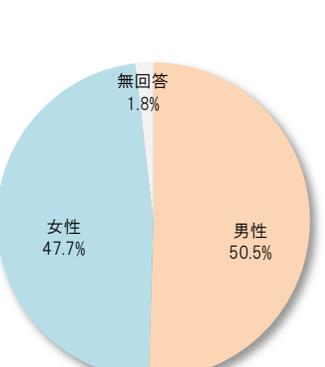
問11 生活道路の安全対策についてご意見がありましたらお聞かせください。

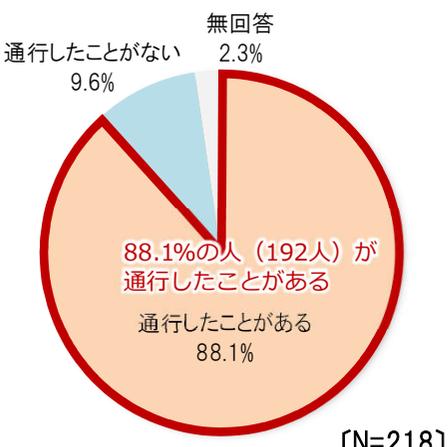
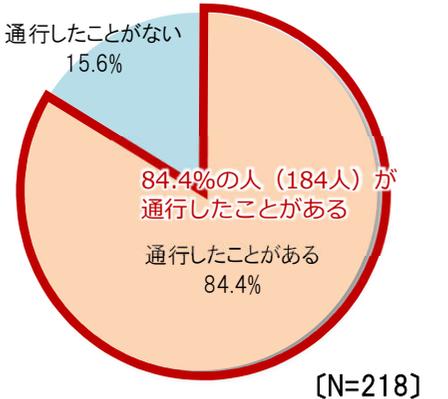
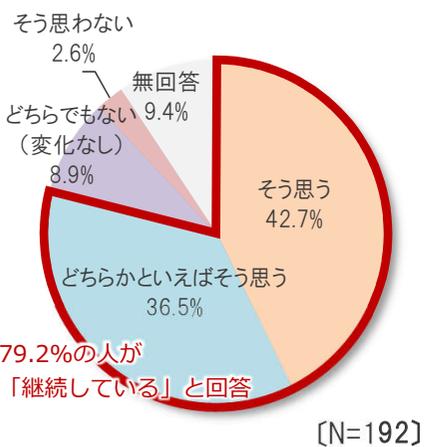
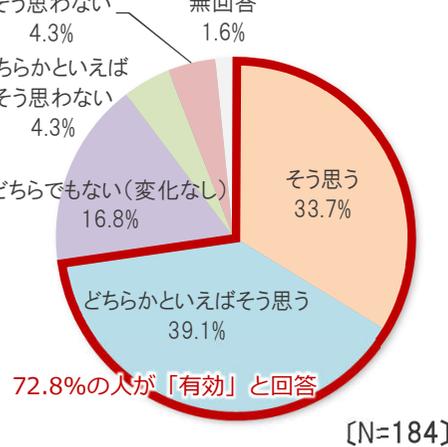
9. 本設置後のアンケート調査

□ 周辺地域の7割以上の方が、**スムーズ横断歩道の効果の持続性や、イメージハンプの効果を実感。**

■ 住民アンケートの結果

住民アンケートは、R5.12.23～R6.1.9に実施

調査対象	ゾーン30プラス周辺の地域住民 (中村京町、中村新町、中村東町など)																												
配布数 回収数	配布数:790票※) 回収数:218票 回収率:27.6% 																												
回答者の属性	<p>※) 配布数(790票)は、ゾーン30エリアに関わる中村京町、中村新町、中村東町の世帯数を参考に設定。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="327 1066 694 1500"> <p><年齢></p>  <table border="1"> <caption>年齢別割合</caption> <tr><th>年齢</th><th>割合</th></tr> <tr><td>90歳代</td><td>3.7%</td></tr> <tr><td>80歳代</td><td>10.1%</td></tr> <tr><td>70歳代</td><td>24.8%</td></tr> <tr><td>60歳代</td><td>21.6%</td></tr> <tr><td>50歳代</td><td>16.5%</td></tr> <tr><td>40歳代</td><td>12.8%</td></tr> <tr><td>30歳代</td><td>6.4%</td></tr> <tr><td>20歳代</td><td>2.8%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.4%</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="705 1066 1064 1500"> <p><性別></p>  <table border="1"> <caption>性別別割合</caption> <tr><th>性別</th><th>割合</th></tr> <tr><td>女性</td><td>47.7%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>50.5%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.8%</td></tr> </table> </div> </div>	年齢	割合	90歳代	3.7%	80歳代	10.1%	70歳代	24.8%	60歳代	21.6%	50歳代	16.5%	40歳代	12.8%	30歳代	6.4%	20歳代	2.8%	無回答	1.4%	性別	割合	女性	47.7%	男性	50.5%	無回答	1.8%
年齢	割合																												
90歳代	3.7%																												
80歳代	10.1%																												
70歳代	24.8%																												
60歳代	21.6%																												
50歳代	16.5%																												
40歳代	12.8%																												
30歳代	6.4%																												
20歳代	2.8%																												
無回答	1.4%																												
性別	割合																												
女性	47.7%																												
男性	50.5%																												
無回答	1.8%																												

スムーズ横断歩道について	イメージハンプについて
問. 通行したことがあるか	問. 通行したことがあるか
 <p>88.1%の人(192人)が通行したことがある</p> <p>通行したことがある 88.1%</p> <p>通行したことがない 9.6%</p> <p>無回答 2.3%</p> <p>[N=218]</p>	 <p>84.4%の人(184人)が通行したことがある</p> <p>通行したことがある 84.4%</p> <p>通行したことがない 15.6%</p> <p>[N=218]</p>
問. 効果が続いていると思うか?	問. イメージハンプは有効だと思うか?
 <p>79.2%の人が「継続している」と回答</p> <p>そう思う 42.7%</p> <p>どちらかといえばそう思う 36.5%</p> <p>どちらかといえばそう思わない 8.9%</p> <p>どちらでもない(変化なし) 9.4%</p> <p>そう思わない 2.6%</p> <p>無回答 1.8%</p> <p>[N=192]</p>	 <p>72.8%の人が「有効」と回答</p> <p>そう思う 33.7%</p> <p>どちらかといえばそう思う 39.1%</p> <p>どちらでもない(変化なし) 16.8%</p> <p>どちらかといえばそう思わない 4.3%</p> <p>そう思わない 4.3%</p> <p>無回答 1.6%</p> <p>[N=184]</p>

10. 生活道路対策エリア(具同小学校区)での今後の展開

【今後の展開】「四万十市具同小学校区」エリアへの展開

◆ETC2.0プローブデータによる走行速度30km/h以上の割合

◆対策の流れ◆

「ゾーン30プラス」の候補エリアを設定

◆設定する上での視点◆

- ETC2.0プローブデータからの車両走行速度等を考慮
- 地域の幹線道路（国道56号、県道346号中村下ノ加江線）を除いたエリアを設定
- 教育機関（学校、保育所）の位置を考慮。



候補箇所の選定

◆選定する上での視点◆

- 教育機関、地域住民、利用者へのヒアリングまたはアンケート調査により、歩行者の利用動線や地域の危険箇所の認識を把握



ご清聴ありがとうございました

